

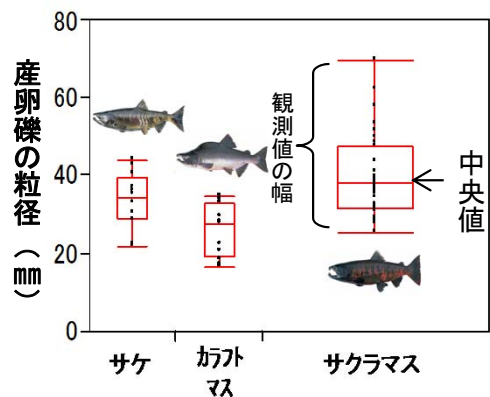
魚道設置によるさけます類の資源回復に向け、遡上できないダム等の上流域における産卵可能区間を推定しました

背景

- さけます類の資源が減少傾向にあります。
- ダム等の上流域で産卵に適した区間を有する河川への魚道設置により、資源回復が期待されます。

成果

1 産卵に適した砂利サイズ

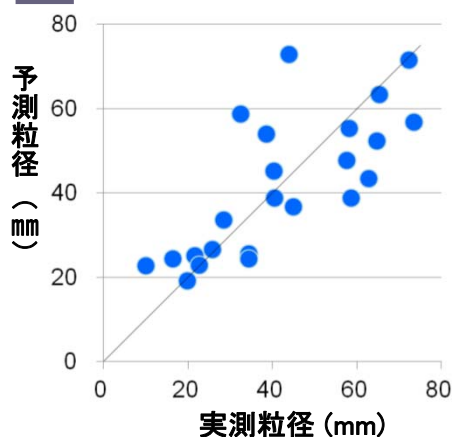


赤枠内は全体の50%の観測値の占める範囲

○種によって産卵場の砂利サイズが異なることを確認

魚種	平均サイズ
サケ	33.7mm
カラフトマス	26.2mm
サクラマス	39.8mm

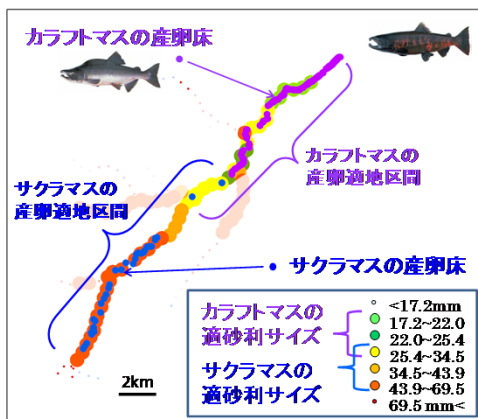
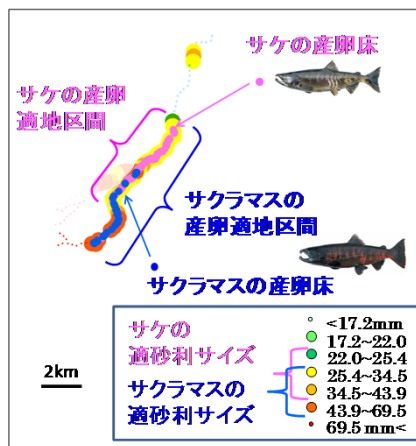
2 川の流速から砂利サイズを推測



○全河川での砂利サイズの実測は不可能なため、川の流速から砂利サイズを推測

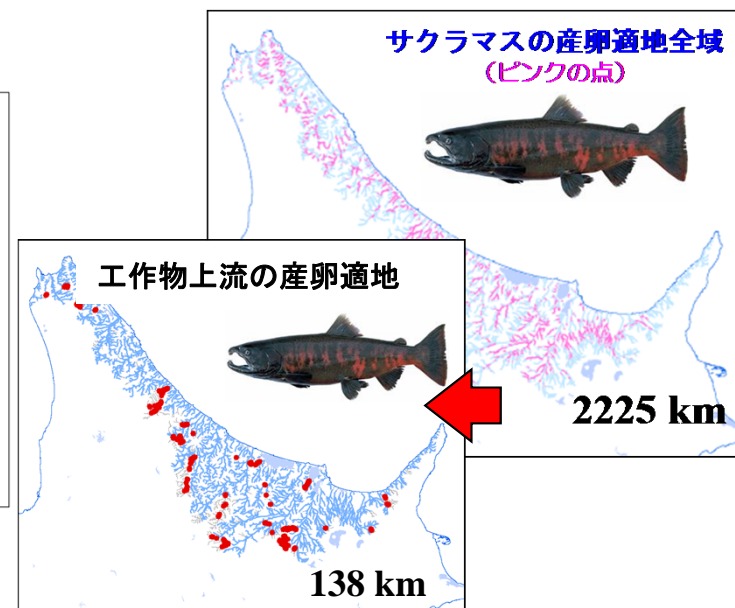
推測値と実測値の比較から **推定精度の高さを確認**

○推定した砂利サイズにより予測した産卵区間と実際の産卵区間がほぼ一致



3 ダム等設置の河川上流域における産卵に適した区間の予測

魚種	可能全区間	ダム等上流域
サケ	891km	→ 39km
カラフトマス	640km	→ 19km
サクラマス	2225km	→ 138km



期待される効果

- さけます類の自然産卵に向け、河川管理者は産卵に適した区間を考慮した効果的な魚道設置が可能となります。